

令和6年度 機械知能・航空実験II A班

ファイナ³ 球と平面の接触特性

東北大学 機械知能・航空工学科
ファイナメカニクスコース 高・松隈研究室

学籍番号 C2TB1505

千葉 匠

共同実験者 シダーサダヌコンダ，川口朋也，蔦森公亨，
吉村悠太

実験日 2024年11月6日

提出日 2024年11月13日

連絡先 chiba.takumi.s4@dc.tohoku.ac.jp

目次

1	目的	2
2	原理	2
3	実験装置	2
4	実験方法	2
5	実験結果	2
6	考察	2

- 1 目的
- 2 原理
- 3 実験装置
- 4 実験方法
- 5 実験結果
- 6 考察

参考文献

- [1] 高偉, 清水裕樹, 羽根一博, 祖山均, 足立幸志. "Bilingual education 計測工学 Measurement and Instrumentation". 朝倉書店 (2020)53-63.
- [2] 小山秀夫. "曲げ加工." 軽金属 58.2 (2008): 84-85.
- [3] 鈴木金属工業 (株) 林博昭. "第 40 回 残留応力測" 日本ばね学会 (2024/11/4 閲覧)
<https://www.jsse-web.jp/kandokoro/kan40.pdf>
- [4] 日鉄テクノロジー. "X 線残留応力測定" (2024/11/4 閲覧)
https://www.nstec.nipponsteel.com/technology/physical-analysis/structural/structural_02_xrs.html
- [5] IHI 検査計測 三上隆男. "穿孔法による残留応力測定について (その 1)" (2024/11/5 閲覧)
https://www.iic-hq.co.jp/library/048/pdf/048_12.pdf